

お品書き

1, 近況・経過報告 / 2, 会費納入再開について / 3, 会員特典強化について
4, 今後の予定 / 5, 夕張市石炭博物館のご案内 / 6, 総会報告 / 7, 他

■1, 近況・経過報告 ■

昨年11月26日に吉岡宏高前理事長が他界し、早いもので半年以上が経過しました。本年1月に執り行いました「偲ぶ会」におきまして、多くの会員の皆様にもご列席賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

当NPOとしても、昨年12月18日の臨時理事会にて新体制が整い、それぞれに個々の得意を持ち寄りながら日々の運営を進めています。とはいえ、吉岡前理事長の抜けた穴はあまりにも大きく、改めて故人の偉大さを痛感していますが、おかげさまで多くの皆様のお力添えをいただきながら、何とか運営も軌道にのりつつあります。

夕張市石炭博物館の指定管理も今春から5年間の契約を更新することができ、まだまだ微速前進ではありますが、一同努力していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

この間の主な経過としては次の通り

となります。

- 1月16日 偲ぶ会(下画)
- 2月11日 理事会
- 2月25日 総会
- 3月19日 炭鉄港検定
- 4月22日 夕張市石炭博物館開館
- 5月3~5 奔別炭鉱敷地公開
*運営委員会等は随時開催
随時:石蔵展示開催

■2, 会費納入再開について ■

会員の皆様には事前に一度ご連絡させていただいておりましたが、運営会員並びに一般会員の皆様に対する会費納入のご案内を発送できておりませんでした。事情としては金融機関の名義変更手続きの厳格化でありまして、まだ雪深い時期に申請手続きを行い、その手続きがこの度、完全に完了したことにより、やっと「情報」とともに会費納入のご案内を発送できることとな

りました。会員の皆様におかれましては、2022年度と2023年度の2年分の請求となってしまう方もおられます。誠に申し訳ありませんが、特殊な事情を鑑み、何卒ご容赦いただければ幸いです。

【会費お支払いについて】
会費納入用の払込票を同封しておりますのでご利用ください。また、マネジメントセンターで直接お支払いいただくことも可能です。

■3, 会員特典強化について ■

今年度からは、会員になっていただいている皆様に対し、特典を強化していきたいと考えています。当NPOが主催する行事へのお得な会員価格での

参加等々、様々にお得感を出していきたいと考えているところですが、今後の目玉の一つは、会員でなければ見ることのできない貴重な過去動画なども専用ページから簡単に見られるようにする予定です。どうぞ楽しみにしてください。

■4, 今後の主な予定 ■

①岩見沢の鉄道と炭鉱の歴史パネル展を7月5日(水)からイオン岩見沢店において開催!これは11月初旬まで続きます。詳細は当NPOのブログをご覧ください。スタッフ常駐日や、ギャラリートークの日程も準備していますので是非日程もチェックしてください。



② 故吉岡前理事長の形見分け

7月26日(水)からは石蔵にて北海道遺産フォトコンテスト入賞作品の展示が始まります。そしてこの日から石蔵2階にて、**故吉岡前理事長の自宅にあった大量の蔵書の一部、約800冊を寄贈いただきましたので、会員の皆様に形見分けをさせていただく予定です。**どれも貴重な書籍ゆえ、一般会員は3冊程度、運営会員並びに賛助会員は5冊程度を上限にお譲りしたいと思います。

③炭鉱の灯り開催します!

故吉岡前理事長が良く口にしていた「炭鉱の灯り」の開催意義は、炭鉱に関係してお亡くなりになられた方々に対する鎮魂。よって「一人でも一つでも続ける」という言葉を私達も引き継ぎます。今年は吉岡前理事長の初盆でもあり、ぜひ皆さんで偲べたらと考えています。

7月29日(土)17時ごろから作業を開始し、キャンドルは18時30分頃から点灯予定。場所は三笠市のクロフォード公園です。

(右: 昨年の様子)

④**ぐらぐらまち歩き唐松新幌内**を、炭鉱の灯りと同日の7月29日(土)14時に唐松駅集合で開催予定です。お楽しみに。

⑤ **奔別炭鉱敷地開放**ゴールデンウィークに実施した敷地開放&ガイドは過去最高の来場者に恵まれ、いよいよ炭鉄港が市民権を得てきたと感じています。そして8月には5日(土)、6日(日)、13日(日)、14日(月)、15日(火)に敷地開放&ガイドを行う予定です。ぜひご参加ください。

⑥「みんなで万字ズリ山ぐらぐら」山の日を炭鉱(ヤマ)の日に? 8月11日(金・祝)せっかくなので実施予定。ズリ山だけでなく過去の賑わいを想像できる遺構等も見学可能です。まだ登ったことの無い方はぜひお気軽にご参加を!ただし、熱中症対策は万全に♪

⑦**ぐらぐらまち歩きシリーズは秋頃から行う予定です。**今年は新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと引き下げられたことにより本格的に復活予定です。ぜひ会員の皆様のお力もお借りしながら、新しいルートも開拓していきたいと考えています。後日ご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

⑧他にも今後の予定は目白押し!

上記情報を含め、随時webサイトやメール等で情報を発信させていただきます。時折チェックしてみてください。

■5, 夕張市石炭博物館 ■

前述の通り、おかげさまで引き続き夕張市から指定管理者を受託することができました。今後5年間の契約期間、益々地域にとってなくてはならない博物館として、その価値を高められるよ



う石川新館長をはじめスタッフ一同努力していきます。

さて、毎年、1階BAN HALLにて行われる特別企画展ですが、今年は「炭鉄港リ・スタート」と題し、管内の関連遺構を一堂に紹介する内容になっています。空知、小樽、室蘭を巡る前にこの展示を見れば、より理解と関心が深まる設定になっています。ぜひ足を運んでいただければ嬉しく存じます。また、皆さん大いに気になっていると思われる**模擬坑道の再開**に向けた工事が鋭意進行中です。残念ながら、まだ再開に向けたスケジュールは明確にはなっていませんが、再開後の準備を着実に進めていきたいと思っています。



《報告 2022》

◆出版事業

×学校・教員に対する啓発のため授業資料を発刊予定だったができず／○リーフレット「炭鉄港」作成→炭鉄港を簡潔に広く配布すべく発刊

◆炭鉱遺産事業

○2年間実施していなかった「ぶらぶらまち歩き」を実施、有料・定員・予約制：全12回、延べ人数225名参加

○奔別炭鉱敷地公開：5/3から5/4全3回、延べ309名参加、7/30から8/14全5回、延べ412名参加／○3月、炭鉄港検定実施 岩見沢会場40名、室蘭会場17名／○7月「炭鉱の灯り」を奔別炭鉱敷地で開催／○7月《炭鉄港》日本遺産との連動による小樽・室蘭との広域連携の強化／1月、小樽日本遺産プロデューサー育成講座／4月、室蘭市民大学／5月、旧室蘭駅舎内で齋藤靖則模型展／10月、下関での日本遺産サミットで講演／11月、室蘭炭鉄港フォーラム講演／他、さまざまな場所での講演、授業の依頼が相次ぐ

◆学術支援事業
○歴史的経緯を踏まえた鹿児島との交流事業～吉岡前理事長が(株)島津興業の顧問として北海道～鹿児島を月例往復していた体制下で、鹿児島の炭鉄港関係者視察受け入れなどに対応し、連携強化を進めた。／○地域シンクタンクとしての展開、模擬坑道再建への策定、支援など地域シンクタンクとしての機能を発揮中。

◆市民団体連携事業
○《炭鉄港》や、シーニックバイウェイ展開などを通じた他管内の機関・団体との連携；JR団体臨時列車、各地での講演、小中学校の授業など様々な場所での依頼が相次ぐ／2月、北海道女性協会炭鉄港講演／5月、東京都郁文館高校講演、駅周辺ガイド／6月、江別蒼樹大学講演／7月、砂川サービスエリアで書籍や商品を販売するブース出店／7月、空知鉄道の延伸記念式典に参加／9月、岩見沢市東光中学校で講



話・室蘭本線130周年記念列車(旭川-室蘭)での車内解説／10月、奈井江中学校ツアーガイドと講演・岩見沢東高校同期会バスツアーガイド／10月、開発局シューパロダム検討会参加／11月、ステイ美唄で講話／他、多数実施。／○国内外の関係者・団体への対応、マネジメントセンターや石炭博物館に炭鉱や《炭鉄港》について問い合わせや取材など多様な対応。

◆拠点施設事業
○そらち炭鉱の記憶マネジメントセンターの質的充実：入館者2022年1月～12月4,773名(2019年4,998名、2020年4,243名、2021年2,785名)炭鉄港フレーム切手販売、炭鉄港カード配布、炭鉄港めしスタンプラリーポイントになるなど、炭鉄港の発信拠点として重要な位置づけとなっている。／○石蔵での企画：表紙に見る「炭鉱技術」展／撮りフェス in 室蘭2021受賞作品展／百年前の室蘭展／谷村研一写真展「北海道を繁栄させた鉄道と蒸気機関車」を実施。

◆ハリテージツーリズム事業
△東武トップツアーズ、炭鉄港推進協議会と共に、炭鉄跡地ガイドツアーやまち歩きツアーを実施。

◆石炭博物館事業
○指定管理業務の着実な実施：2022年シーズンは、コロナ禍の終焉が見通せず、夕張りゾート破綻による影響も解

消されない中ではありましたが、2020年、2021年に発出された緊急事態宣言による休館はなく、シーズンを通した開館ができ観光客の動きも復活の兆しが見えてきました。入館者数は17,196人(うち有料16,157人)。1階無料展示だけで帰る無入館を含めた来館者数は18,881人。目標を46.8%上回ることができました。2020年から継続している各種の環境整備の取り組みや、理事(大橋・石川・酒井・熊谷・平野)による交替助勤体制が定着し、指定管理業務の着実な実施体制を継続。また、9月より夕張市の地域おこし協力隊員1名の派遣を受け、博物館スタッフとしての教育訓練を実施。／○博物館の質的充実に向けた展開：特別企画展「炭鉱の夕張」の高度利用(常設展や夕張市内との関連性誘導)、来館者満足度を最も高めているドラムカッター実演運転の解説員の多様化、収蔵庫の史料活用(展示・貸出)など、質的充実に向けた取り組みを継続できた。その他、各種団体等の催事への参加・協力を通じて、博物館及び夕張の広報・PRに取り組みました。〈「夕張メロンラン」／「北海道はゴールデンカムイを応援しています」ARスタンプラリー参加／公社日本JC「南空知まちあそび人生ゲーム」チェックスポット施設使用提供／炭鉄港めしスタンプラリー／2022南そらち秋のスタンプラリー、他〉

◆会務
×会員サービスの充実：交流会等を模索するもコロナ禍で実施できず／×企業賛助会員の拡大：成果を出す事ができませんでした／△会員数：2022年12月末総数=343名(2021年末344名)／運営会員=53名(同51名)、一般会員=266名(同269名)、賛助会員=24社(同24社)

◆会務

×会員サービスの充実：交流会等を模索するもコロナ禍で実施できず／×企業賛助会員の拡大：成果を出す事ができませんでした／△会員数：2022年12月末総数=343名(2021年末344名)／運営会員=53名(同51名)、一般会員=266名(同269名)、賛助会員=24社(同24社)

《計画 2023》

◆出版事業

例年であれば「ブックレットの発刊」、「関連資料の制作・公開」となるが、今季はNPOが主体となって行うことは難しいと考えていることから、何らかの要請等に対する協力を実施／出版事業に値するものとして新規事業として動画配信事業を強化

◆動画配信(新規)
1月より前年度ぶらぶらまち歩き2022の振り返り配信、及び炭鉄港の価値向上に関するYouTube動画配信を開始

◆炭鉱遺産事業
指定管理業務の受託更新に向けた取り組み／博物館の体制強化／博物館の質的充実に向けた展開／模擬坑道再建に向けた支援及び再開準備

◆会務
会員サービスの実施／企業賛助会員の拡大／新たな経営戦略と運営体制検討

◆市民団体連携事業
《炭鉄港》などを通じた他管内の機関・団体との連携／国内外の関係者・団体への対応

		単位：円	
科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	274,343		
普通預金 北洋銀行	4,776,925		
普通預金 北洋銀行 [石博]	7,022,815		
普通預金 空知信用金庫	338,843		
普通預金 北海道労働金庫	9,349		
普通預金 ゆうちょ銀行	727		
郵便振替口座	173,827		
現金・預金小計	12,596,829		
立替金 [模擬坑道電力]	520,807		
貯蔵品	234,474		
前払費用 [家賃]	150,000		
仮払金	291,702		
流動資産合計		13,793,812	
2 固定資産			
建物付属設備	199,100		
工具器具備品	1,582,022		
減価償却累計額	△ 1,512,161		
有形固定資産小計	268,961		
敷金	50,000		
出資金 [空知信用金庫]	50,000		
投資その他の資産小計	100,000		
固定資産合計		368,961	
資産合計			14,162,773
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 [電力料・社会保険]	2,442,551		
未払費用	613,100		
預り金	455,975		
未払い法人税	904,500		
未払い消費税	1,007,900		
流動負債合計		5,424,026	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,424,026
III 正味財産の部			
1 前期繰越正味財産			6,123,100
2 当期正味財産増加額			2,615,647
正味財産合計			8,738,747
負債および正味財産			14,162,773

科 目	2022決算	2023予算
経常収益		
受取会費	1,687,000	2,300,000
寄付金	209,592	100,000
事業収益	35,996,790	28,000,000
補助金	13,431,000	2,300,000
その他	175,927	500
経常収益計	51,500,309	32,700,500
経常費用		
人件費	14,825,106	12,660,000
各事業費計	31,970,587	17,475,500
小計	46,795,693	30,135,500
人件費	300,000	0
その他経費	723,045	2,400,000
小計	1,023,045	2,400,000
経常費用計	47,818,738	32,535,500
当期正味財産増加額	3,681,571	0
法人税・住民税・事業税	1,065,924	165,000
当期繰越正味財産額	2,615,647	0
前期繰越正味財産額	6,123,100	8,738,747
当期正味財産	8,738,747	8,738,747

《左》2022年12月31日の財務状況
《上》活動計算書の'22決算・'23予算

《人事等報告》

役員改選において、理事及び監事は全員留任となりました。よって総会終了後に理事会を開催し、理事長の選任及び、副理事長等の任命が行われました。その際、故吉岡前理事長を失った大きな穴を補うべく、顧問を委嘱することを検討。これまでも多大なご尽力を賜ってきた札幌学院大学名誉教授の太田清澄様にシンクタンク機能を主としたお力添えを、そして薩摩との関係をより強固にすべく、株式会社島津興業 代表取締役社長である島津忠裕様のご両名に顧問として就任いただくことが出来ましたことをご報告いたします。



このように総会で議決されました。活動情報はホームページやSNS、YouTubeでも発信しています。ぜひご覧いただければ幸いです。どうぞ今後とも宜しくお願い申し上げます。